

市民活動団体

活動紹介

「わくわくまつり」

5月25日(日)

健康子育て支援団体 thanks to child 主催でわくわくまつりが八尾市北第2公園(刑部公園)で開催された。会場は大盛況だった。舞台があり、そこでダンスや漫才、ライブ、バトントワリングが披露された。フィナーレでは「ありがとうの花」という曲をみんなで歌った。



▲関係者はみんなピンクの服でそろっていて、華やかでとてもよかったです。

「こどもカーニバルへ出展！」

5月25日(日)

大正北地区青少年育成連絡協議会が主催で、大正北小学校で開催。つどい登録団体「いちご会」が昔遊びで出展。「パカパカ」、「折り紙」、「バルーン」で子ども達と世代間交流を図り、また地域行事への参加・協働を行い、つながりづくりをめざしている。



▲「パカパカ」は、竹にひもを通して遊び、「バルーン」は剣つくりを盛でチャップリンや折り紙は、大繁こと、子どもが元気に遊び姿を見ることができた。

「8th JEANS CONCERT」

5月31日(土)

JEANS FAMILYが主催(後援:八尾市等)でプリズムホールで開催。観客席はほぼ満席。赤ちゃんから高齢者まで老若男女が、連弾や独奏、アンサンブル、昔話と演奏のコラボレーションを楽しんだ。音楽とふれあう場を無料で提供し、観客が歌で参加する場面もあり、ともに楽しむことができた。



▲クラリネット、トランペット、ピアノのアンサンブルのせ、昔話「かくや姫」が語られた。話の情景が音楽から伝わる。新しい物語の語り方だと思った。

「創作舞踊 翔の会」

6月12日(木)

創作舞踊「翔の会」主催。「和と輪による人と人とのふれあい」をテーマにプリズムホールで開催。写真撮影には、「写楽のつどい」が協力。八尾市老人福祉センターコーラス部(わかば)や二胡の演奏など多彩な演目があった。客席と一体となって「人の輪」が広がり、ホールが熱気につつまれた。



▲長唄や歌謡曲にのって、凛々しい男舞や柔らかな女舞を披露。雨や雪の背景、衣装の色のあざやかなコントラストなど、もうひとつのテーマである日本文化を伝える「和」が美しく舞台上に表現された。

インターネット「つどいブログ」でも上記以外の取材も掲載中!



大依 和也
行政書士・社会保険
労務士。センター
「つどい」でNP
O・市民活動団体の
ための専門家相談
の相談員(無料)。
詳細は7頁。

今年度ですが、ここ数年で障がい者雇用の支援・助成金もより充実したものとなってきております。小規模であっても事業運営に携わる方は、これからは障がい者雇用も視野に入れた経営が必須になってくるかと思われまます。

ある新聞のコラムで、障がい者雇用に積極的でありながら黒字経営を続けている日本理化学工業のこと、現在は経営再建へ向けているが、ソーラーの創業者が障がい者支援に力を入れてきたことが書かれている記事を読みました。

パートタイムで雇用されている障がい者の方たちですが、その就業時間中はとても活気があり、支援されているスタッフの方も快く働いておられました。
就業時間が終わり、障がい者の方々が帰られると事業所の中は閑散とした感じになります。

先日、障がい者の就労支援をしているとある事業所様を訪問する機会がございました。

第84回 「障がい者の雇用」

つどいさきコラム

大依 和也